

『しまの宝』 第6号

R4.6.24発行

文責：校長 福田 明光

久賀っ子の心を見つめる教育週間

6月10日（金）から16日（木）は久賀っ子の心を見つめる教育週間として命の大切さや人とのつながりをテーマに多くの活動を行いました。

10日（金）、全校朝会「命」についての校長講話から始めました。教育週間が始まるきっかけとなった事件と自分の命と同じように相手の命も大切にすることを話しました。

3校時には、五島消防署から講師をお招きして救急救命法の講習を行いました。現在、久賀島には医師がいませんので、万が一の際には自分たちで命を繋げなければなりません。真剣に講義を聴き、実習にも取り組みました。中学生は全員で役割を分担し、実践しながらに救命実習を行いました。



午後からは、久賀島デーサービスを訪問させていただき、歌やクイズ、リズム体操など利用者の方と共に楽しみました。交流が終わり、帰る時にお一人ずつと握手をしましたが、涙を流されながら感謝の気持ちを伝える利用者もおられ、子ども達は満足感に満たされていました。帰校後は、「また行きたい」「もっと喜んでほしい」などの感想を述べ合いました。



13日（月）は、全学級で道徳の授業公開を行いました。保護者の皆様にもリモートで参観していただきました。人数は少ないですが活発に意見を出し合い、命について深く考えることができました。



15日（水）は、午前中はサツマイモの苗植えに取り組みました。校庭横にお借りした畑でまちづくり協議会・民生委員の方々にご指導いただきながら安納芋の苗150本を植えました。作業開始時はぎこちなかった手つきも、2本3本と植えていくうちに慣れいき、あっという間に5棟全てに植えることができました。地域の方々とも作業を通して、楽しく交流ができました。秋の収穫・冬の焼き芋の会が楽しみです。





児童生徒・職員とご参加いただいた地域の方と記念撮影を行いました。地域の方々は、自分の子どものように温かく、優しく丁寧に接していただいています。

午後からはプール清掃に取り組みました。午前中に引き続き民生委員の皆様にもご協力いただきました。日差しが強く、蒸し暑さもありましたが、互いに声を掛け合い、楽しい時間を過ごすことができました。子ども達は今月末から始まる水泳の授業が楽しみになってきました。



16日(木)は、図書ボランティアの武藤さん、坂井さんによる読み聞かせを行いました。久賀の昔話を題材にした「おとぎの一時そば」の紙芝居、リズム遊び、戦争の絵本など工夫を凝らした表現により子ども達は本の楽しさを味わうことができました。新しい本も紹介していただき、更に読書が好きになった時間でした。



午後からは児童生徒総会を行いました。自分たちの生活について真剣に考え、より良くしていくアイデアを出し合いました。



俳句活動(長崎新聞掲載作品)

レッツ575(5/27掲載)

タケノコ取り 予定日には もう竹だ
5年 三上覚

ジュニア俳壇(6/12掲載)

<佳作>

風吹けば頭も草もオールバック
3年 小池優芽
まるまると太った猫と会話する
1年 重森幹仁



※感染状況では変更になる場合もあります

- 7/1 命の授業(奈留小中とオンライン)
- 6 職場体験学習【中】(~8)
- 12 移動図書
- 13 島根県 海士中学校 交流【中】
学校公開日 水泳記録会 全校PTA
- 14 奈留小学校 交流【小】(オンライン)
スクールカウンセラー来校
- 15 誕生日会【小】
- 16 海の会
- 17 家庭の日(ノ一部活動デー)
- 18 海の日<祝日>
- 20 1学期終業式 平和集会
子ども教室(流しそうめん)
- 23 長崎県中総体(長与町)団体【中】
- 24 長崎県中総体(長与町)個人【中】

久賀小中学校のホームページ

<http://hisakashochu.tn.goto-tv.ne.jp/>

